

ゼオンポリミクス

会社紹介

【事業内容】

ゴムコンパウンドの製造

1967 年設立。日本ゼオンの合成ゴム事業展開の一環としてゴムコンパウンドの製造を担っています。特に耐熱性、耐油性、耐磨耗性などが求められる特殊ゴムコンパウンドは、自動車の機能ゴム部品の素材として使用されるなど、多くのお客様から厚い信頼を得ています。

海外展開が活発な自動車メーカー、弱電メーカーなどへゴム部品を供給するゴムメーカーのために、タイおよび中国に関係会社を持ち、国内同様の高品質なゴムコンパウンド製品を供給できる体制を整えています。

【人員数】

2017 年 3 月末人員数：104 名（男性 87 名、女性 17 名）

2016 年度採用実績：2 名（男性 2 名、女性 0 名）



ゼオンポリミクス

製品イメージ



ゴムコンパウンドを使用した自動車用エアダクトホース

会社方針（トップメッセージ）

「高品質企業を目指そう」をスローガンに、製品品質、会社品質でカーボンマスターバッチ業界ナンバーワン企業を目指しています。

2017 年度の社長方針として、3 つの重点課題を挙げ、従業員全員で取り組んでいます。

1. 設備保全の強化と生産技術の向上により、工程異常を無くし、安定で安全な生産を達成する。
2. カーボンマスター生産技術の改革・改善を継続し、生産性向上による原価低減と環境負荷低減を達成する。
3. ゼオンポリミクス独自のカーボンマスター技術を確立し、世界で活躍するリーダーの育成とグループ企業への支援強化を行う。



代表取締役 佐屋 利明

安全への取り組み

【方針】

無事故・無災害と労働環境整備

【具体的な取り組み】

1. ヒヤリハット活動

従業員全員参加のヒヤリハット活動により、危険個所や危険作業を共有化し改善につなげることで、事故や災害が発生しにくい労働環境を作っています。

2. 毎回テーマを決めた「現場パトロール」

大事故につながる挟まれ・巻きまれ、転落・落下、衝突等をテーマにした「現場パトロール」を実施し、普段は気が付かないリスクを抽出し改善しています。

3. その他の活動

- ・安全体感教育の計画的実施
- ・作業のリスクアセスメント活動
- ・作業のフルブルーフ化

環境負荷削減の取り組み

【方針】

環境負荷低減、リスク低減の達成

【具体的な取り組み】

1. 産業廃棄物のゼロエミッション 100%継続

- ・工程内ロス削減
- ・廃棄物の再資源化、再利用、他への有効活用

2. CO₂ 排出量の削減

- ・省エネ型機器や LED 照明の採用
- ・使用電力量削減に向けたデマンド解析の仕組みの構築

3. 環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

ゼオンポリミクス（株） 大津事業所		2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	5	5	5	4	6
	使用量（トン）	146	122	113	125	115
	排出量（トン）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量（トン）	155	148	160	184	197
	埋立処分量（トン）	0.0	0	0.0	0.0	0.0
水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ）		50	49	48	48	28
CO ₂ 排出量（トン）		2,631	2,740	2,860	3,159	3,346
エネルギー使用量（原油換算、kL）		1,534	1,416	1,388	1,495	1,603

社員とともに

【方針】

安定・安全な生産を確立するため、操業員の力量向上を図るとともに、マザー工場として世界に通用するリーダーの育成とグループ企業への支援強化を行っています。

【具体的な取り組み】

- ・設備トラブルや工程異常を無くし、安定・安全な生産を確立するためサポート部隊の強化
- ・現場力の向上を目指した「保全マン」育成などの計画的な従業員教育実施
- ・「海外支援室」を中心とした海外関連会社への技術支援による技術者育成

地域との共生

地域の環境保全・社会発展に貢献し、共生を図っていきます。

【具体的な取り組み】

1. 避難所運営訓練への参加

地域で開催された避難所運営訓練に 5 名が参加しました。



避難所運営訓練

2. 琵琶湖の生態系を守る活動に参加

「琵琶湖を戻す会」主催の外来魚駆除大会に、従業員と家族あわせて 43 名が参加しました。



外来魚駆除